

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 越生自動車大学校
設置者名	学校法人 一川学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	一級自動車整備科	夜・通信	2,155	160	
	自動車整備科	夜・通信	1,532	160	
	情報システム科	夜・通信	1,225	160	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/> (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 越生自動車大学校
設置者名	学校法人 一川学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/>（本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元自動車販売会社 総務部長	令和2年8月1 日～令和6年7 月31日	教育活動
非常勤	税理士	令和2年8月1 日～令和6年7 月31日	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 越生自動車大学校
設置者名	学校法人 一川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成過程は、教育課程編成委員会を年2回開催し、その提言を教育課程の編成に活かしている。担当教員が作成したシラバスは、教務課長が内容を確認する手続きを取る。本校のシラバスについての考え方は、授業科目を履修しようとする学生が利用するにあたり、できるだけ具体的かつ明確に記載することを基本とし、次年度のシラバスは前年度の2月末までに作成し、3月10日から公表する。この基本的な考えのもと、教科名、授業区分(学科授業・実習授業)、授業概要(授業内容)、到達目標(履修後に身に付けるべき能力)、授業の計画(授業時間数)、履修にあたっての留意点、成績評価の方法は、講義(学科授業)では、定期試験の成績を80%出席状況、授業態度、レポートなど提出物等の評価点20%としている、実習授業は実技試験の成績70%、レポートの仕上げ等20%、出席状況・授業態度等10%として評価を実施し成績評価としている。また、使用教材、使用機器等も記載している</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/ (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>									
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲の把握は、シラバスに記載された到達目標に到達するまで、実施する。また、学習成果の評価方法は、学生にあらかじめ示している客観的な方法・基準に基づき判定し、シラバスに記載されているとおり定期試験結果に評価点を加味するものとし、その配分比重は試験獲得点を 80%、評価点 20%としている。評価点の成績算定項目は、出欠状況、授業態度、提出物、各種小テスト等とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の実施時期 前期試験 9月 後期試験 2月 <p>尚、追試験、再試験については、必要に応じて実施する。</p> <p>実習における学習成果の評価は、以下のとおり配分して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験の成績 70% ・レポート 20% ・出席状況・授業態度 10% <p>成績評価の基準は、卒業・進級及び学修評価、履修に関する内規に規定されており、教務課長より入学直後のオリエンテーションにて示されている。</p> <p>評価は、各科目修了時に、各期の成績をもとに行う。</p> <p>通期実施の科目の評価は、各期の成績を統合して行う。</p> <p>成績と評価は次のとおり</p> <table> <tr> <td>成績 100～85点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>成績 84～70点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>成績 69～60点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>成績 59点以下</td> <td>不可</td> </tr> </table>		成績 100～85点	優	成績 84～70点	良	成績 69～60点	可	成績 59点以下	不可
成績 100～85点	優								
成績 84～70点	良								
成績 69～60点	可								
成績 59点以下	不可								
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>									
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の適切な実施については、シラバスに記載されているとおり、定期試験結果に評価点を加味するものとし、その配分比重は試験獲得点を 80%、評価点 20%として実施している。尚、評価点の成績算定項目は、出欠状況、授業態度、提出物、各種小テスト等とする。</p> <p>客観的な指標の算出方法と成績の分布状況の把握について</p> <p>学科・学年ごとに、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出(100点満点で点数化)し指標とする。また、その指標の分布表を作成し公表する。</p>									
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/ (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)</p>								

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針</p> <p>本校では、社会から必要とされる「優秀な技術者」となるべく、高度な専門知識と専門技術修得は勿論のこと、豊かな人間性も身に付けることを卒業認定の基本方針としている。具体的には、履修すべき全科目を修得し技術者としての基本的知識と技術を身に付け、合わせて各種資格取得を目標とする。また、成績は履修すべき全科目、可以上の成績評価とし、出席時数は本校で定めた時数を上回っていることを卒業条件とする。</p> <p>卒業認定の実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業（修了）の認定は、履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 2. 各科目の習得は、当該科目の出席状況及び学習成績を勘案して行い、これら全て修了、職員会議で決定する。会議は校長を含め全教職員で行い、議事録を残す。 3. 出席状況の把握は、出席簿によって行い、一級自動車整備科、自動車整備科は、出席時数が本校で定める教育内容別時間数の80%以上、実習は90%以上の出席でなければ卒業を認定しない。また、実習・学科とも国土交通省で定める教育科目別の標準時間を上回る。尚、情報システム科においては、学科・実習とも、出席時間数は本校で定める教育科目別時間数の85%以上でなければならない。 4. 出席時数の不足の理由が止むを得ない場合、職員会議等で補習を認めた者に対しては、当該科目について補習授業を行うことが出来る。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/ (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 越生自動車大学校
設置者名	学校法人 一川学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/%e8%b2%a1%e5%8b%99%e6%9b%b8%e9%a1%9e%e7%ad%89/ （本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】→【財務書類等】）
収支計算書又は損益計算書	http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/%e8%b2%a1%e5%8b%99%e6%9b%b8%e9%a1%9e%e7%ad%89/ （本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】→【財務書類等】）
財産目録	http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/%e8%b2%a1%e5%8b%99%e6%9b%b8%e9%a1%9e%e7%ad%89/ （本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】→【財務書類等】）
事業報告書	http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/%e8%b2%a1%e5%8b%99%e6%9b%b8%e9%a1%9e%e7%ad%89/ （本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】→【財務書類等】）
監事による監査報告（書）	http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/%e8%b2%a1%e5%8b%99%e6%9b%b8%e9%a1%9e%e7%ad%89/ （本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】→【財務書類等】）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	一級自動車整備科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2004時間/単位	630時間	時間	1555時間	時間	
			2185時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		10人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 学科 630 時間、実習 1555 時間を 2 年間で履修できるカリキュラムを編成している。 全ての履修科目についてシラバスを作成しホームページで公表している。

<p>成績評価の基準・方法</p>								
<p>(概要)</p> <p>学科における学習成果の評価は、定期試験結果に評価点を加味するものとし、その配分比重は試験獲得点を 80%、評価点 20%とする。評価点の成績算定項目は、出欠状況、授業態度、提出物、各種小テスト等とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の実施時期 前期試験 9月 後期試験 2月 <p>尚、追試験、再試験については、必要に応じて実施する。</p> <p>実習における学習成果の評価は、以下のとおり配分して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験の成績 70% ・レポート 20% ・出席状況・授業態度 10% <p>成績評価の基準</p> <p>評価は、各科目修了時に、各期の成績をもとに行う。</p> <p>通期実施の科目の評価は、各期の成績を統合して行う。</p> <p>成績と評価は次のとおり</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">成績 100～85点</td> <td style="width: 33%;">優</td> <td style="width: 33%;">成績 69～60点</td> <td style="width: 33%;">可</td> </tr> <tr> <td>成績 84～70点</td> <td>良</td> <td>成績 59点以下</td> <td>不可</td> </tr> </table>	成績 100～85点	優	成績 69～60点	可	成績 84～70点	良	成績 59点以下	不可
成績 100～85点	優	成績 69～60点	可					
成績 84～70点	良	成績 59点以下	不可					
<p>卒業・進級の認定基準</p>								
<p>(概要)</p> <p>認定基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業（修了）の認定は、履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 2. 進級（修了）の認定は、当該年度の履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 3. 各科目の習得は、当該科目の出席状況及び学習成績を勘案して行い、これら全て修了、職員会議で決定する。会議は校長を含め全教職員で行い、議事録を残す。 4. 出席状況の把握は、出席簿によって行い、出席時数が本校で定める教育内容別時間数の 80%以上、実習は 90%以上の出席でなければ卒業を認定しない。また、実習・学科とも国土交通省で定める教育科目別の標準時間を上回る事。 5. 出席時数の不足の理由が止むを得ない場合、職員会議等で補習を認めた者に対しては、当該科目について補習授業を行うことが出来る。 								
<p>学修支援等</p>								
<p>(概要)</p> <p>学生の経済的支援として、各種奨学金の情報提供を実施。本校独自の奨学金制度である企業後援会奨学金（給付型）や同窓会奨学金（一部給付型）も用意している。また地方出身者や遠方からの入学生のため、本校の指定アパートを地元の業者と契約している。</p>								

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) トヨタ西東京カローラ・東京日野自動車・東日本三菱自動車販売			
(就職指導内容) クラス担任による親身な個人指導、各種企業説明会参加、インターンシップ 入社試験対策として模擬面接練習等を個人別実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 一級小型自動車整備士資格合格率 75.0% 職業訓練指導員試験合格率 50.0%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、学科長による面談を通して、勉学やプライベートな問題等をケアしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	自動車整備科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1916時間/単位	896時 間	時間	1296時 間	時間	時間
			2192時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130人		60人	2人	6人	4人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）													
<p>（概要）</p> <p>学科 896 時間、実習 1296 時間を 2 年間で履修できるカリキュラムを編成している。全ての履修科目についてシラバスを作成しホームページで公表している。</p>													
成績評価の基準・方法													
<p>概要</p> <p>学科における学習成果の評価は、定期試験結果に評価点を加味するものとし、その配分比重は試験獲得点を 80%、評価点 20%とする。評価点の成績算定項目は、出欠状況、授業態度、提出物、各種小テスト等とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の実施時期 前期試験 9月 後期試験 2月 尚、追試験、再試験については、必要に応じて実施する。 <p>実習における学習成果の評価は、以下のとおり配分して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験の成績 70% ・レポート 20% ・出席状況・授業態度 10% <p>成績評価の基準</p> <p>評価は、各科目修了時に、各期の成績をもとに行う。</p> <p>通期実施の科目の評価は、各期の成績を統合して行う。</p> <p>成績と評価は次のとおり</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">成績 100～85 点</td> <td style="text-align: center;">優</td> <td style="text-align: center;">成績 69～60 点</td> <td style="text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成績 84～70 点</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td style="text-align: center;">成績 59 点以下</td> <td style="text-align: center;">不可</td> </tr> </table>						成績 100～85 点	優	成績 69～60 点	可	成績 84～70 点	良	成績 59 点以下	不可
成績 100～85 点	優	成績 69～60 点	可										
成績 84～70 点	良	成績 59 点以下	不可										
卒業・進級の認定基準													
<p>概要</p> <p>認定基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業（修了）の認定は、履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 2. 進級（修了）の認定は、当該年度の履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 3. 各科目の習得は、当該科目の出席状況及び学習成績を勘案して行い、これら全て修了、職員会議で決定する。会議は校長を含め全教職員で行い、議事録を残す。 4. 出席状況の把握は、出席簿によって行い、出席時数が本校で定める教育内容別時間数の 80.0%以上、実習は 90.0%以上の出席でなければ卒業を認定しない。また、実習・学科とも国土交通省で定める教育科目別の標準時間を上回る事。 5. 出席時数の不足の理由が止むを得ない場合、職員会議等で補習を認めた者に対しては、当該科目について補習授業を行うことが出来る。 													

学修支援等
(概要) 学生の経済的支援として、各種奨学金の情報提供を実施。本校独自の奨学金制度である企業後援会奨学金（給付型）や同窓会奨学金（一部給付型）も用意している。また地方出身者や遠方からの入学生のため、本校の指定アパートを地元の業者と契約している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	7人 (29.2%)	17人 (70.8%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 埼玉トヨタ、埼玉トヨペット、カローラ埼玉、カローラ新埼玉、ネッツトヨタ東埼玉、トヨタモビリティ東京、日産プリンス埼玉、埼玉スバル、埼玉ダイハツ、スズキ自販西埼玉、関東マツダ、東京日野、関東いすゞ、いすゞ自動車首都圏、(株)スバル、軽自動車検査協会外			
(就職指導内容) クラス担任による親身な個人指導、各種企業説明会参加、インターンシップ 入社試験対策として模擬面接練習等を個人別実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級ガソリン自動車整備士合格率 100% 二級ジーゼル自動車整備士合格率 95.8%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	3人	5.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的な理由、就職のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による本人との個人面談や保護者・本人・担任教員との3者面談等を実施し、早期のうちから退学理由となりうる問題解決に取り組んでいる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1785時間/単位	875時 間	時間	1225時 間	時間	時間
			2100時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		1人	0人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）													
<p>（概要）</p> <p>学科 875 時間、実習 1225 時間を 2 年間で履修できるカリキュラムを編成している。全ての履修科目についてシラバスを作成しホームページで公表している。</p>													
成績評価の基準・方法													
<p>概要</p> <p>学科における学習成果の評価は、定期試験結果に評価点を加味するものとし、その配分比重は試験獲得点を 80%、評価点 20%とする。評価点の成績算定項目は、出欠状況、授業態度、提出物、各種小テスト等とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の実施時期 前期試験 9月 後期試験 2月 尚、追試験、再試験については、必要に応じて実施する。 <p>実習における学習成果の評価は、以下のとおり配分して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験の成績 70% ・レポート 20% ・出席状況・授業態度 10% <p>成績評価の基準</p> <p>評価は、各科目修了時に、各期の成績をもとに行う。</p> <p>通期実施の科目の評価は、各期の成績を統合して行う。</p> <p>成績と評価は次のとおり</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">成績 100～85 点</td> <td style="width: 33%;">優</td> <td style="width: 33%;">成績 64～45 点</td> <td style="width: 33%;">可</td> </tr> <tr> <td>成績 84～65 点</td> <td>良</td> <td>成績 44 点以下</td> <td>不可</td> </tr> </table>						成績 100～85 点	優	成績 64～45 点	可	成績 84～65 点	良	成績 44 点以下	不可
成績 100～85 点	優	成績 64～45 点	可										
成績 84～65 点	良	成績 44 点以下	不可										
卒業・進級の認定基準													
<p>概要</p> <p>認定基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業（修了）の認定は、履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 2. 進級（修了）の認定は、当該年度の履修すべき全科目の習得が認定された者に対して行う。 3. 各科目の習得は、当該科目の出席状況及び学習成績を勘案して行い、これら全て修了、職員会議で決定する。会議は校長を含め全教職員で行い、議事録を残す。 4. 出席状況の把握は、出席簿によって行い、学科・実習とも、出席時間数は本校で定める教育科目別時間数の 85%以上でなければならない。 5. 出席時数の不足の理由が止むを得ない場合、職員会議等で補習を認めた者に対しては、当該科目について補習授業を行うことが出来る。 													

学修支援等
(概要) 学生の経済的支援として、各種奨学金の情報提供を実施。本校独自の奨学金制度である企業後援会奨学金(給付型)や同窓会奨学金(一部給付型)も用意している。また地方出身者や遠方からの入学生のため、本校の指定アパートを地元の業者と契約している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0.0%)	1人 (50.0%)	1人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 新埼玉環境センター			
(就職指導内容) クラス担任による親身な個人指導、各種企業説明会参加、インターンシップ入社試験対策として模擬面接練習等を個人別の実施している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 情報処理技能検定3級合格率 100% CAD利用技術者2級合格率 100% 日本語ワープロ検定1級合格率 100% 表計算検定1級合格率 100% プレゼンテーション検定合格率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による本人との個人面談や保護者・本人・担任教員との3者面談等を実施し、早期のうちから退学理由となりうる問題解決に取り組んでいる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
一級自動車整備科	300,000 円	468,000 円	568,000 円	実習費、施設設備費
自動車整備科	300,000 円	468,000 円	520,000 円	実習費、施設設備費
情報システム科	300,000 円	468,000 円	484,000 円	実習費、施設設備費
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
指定校推薦者入学金 10 万円免除、A O 第 1 期応募者入学金 5 万円免除、 企業後援会奨学生 10 万円給付、同窓会奨学金 10 万円貸与(一部給付)、				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/ (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、学校関係者(卒業生、保護者、地域並びに企業等)による学校評価を実施し、保護者・地域住民に理解され信頼されるよう努めるとともに、より良い学校づくりのため学校経営の改善、促進に寄与することを基本方針とする。 主な評価項目としては、教育理念・目的・育成する人材像・学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生募集と受入れ・財務・法令順守・社会貢献・地域貢献とする。 評価委員の構成は、卒業生 1 名、保護者 1 名、地域住民 1 名、業界代表 2 名とする。 尚、委員会は年 2 回開催し、7 月開催の委員会では前年度の「自己点検評価」をもとに外部評価をいただき、「改善提案」を行い次年度へ反映される。12 月開催の委員会では、当該年度の学校運営全般における中間評価を実施し、年度末までに対応できるものは改善を実施する。学校関係者委員の評価は、委員毎の個人別評価書にて実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地元自動車整備事業者	2020 年 12 月 20 日～ 2022 年 12 月 19 日	地元住民
本校一級自動車整備科 保護者	2020 年 12 月 20 日～ 2022 年 12 月 19 日	保護者
本校同窓会会長	2020 年 12 月 20 日～ 2022 年 12 月 19 日	卒業生
自動車ディーラー役員	2020 年 12 月 20 日～ 2022 年 12 月 19 日	業界代表
自動車ディーラー人事部長	2020 年 12 月 20 日～ 2022 年 12 月 19 日	業界代表

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.ogosejidai.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e6%83%85%e5%a0%b1%e5%85%ac%e9%96%8b/ (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.ogosejidai.ac.jp (本校トップページ下部【学校紹介】→【情報公開】)
